

平成21年度

かほく市教育委員会  
点検及び評価報告書

平成22年12月

かほく市教育委員会

## はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成21年度のかほく市教育委員会の活動を振り返るとともに、教育委員会が毎年示す「かほく市の教育」の重点目標を達成するための具体的施策について、自ら事務事業の点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々からの意見もいただいで作成したものです。

かほく市教育委員会は、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、創造力と生きがいを育む教育の推進に努力してまいります。

平成22年12月

かほく市教育委員会

## かほく市の教育（平成21年度）

### 教育方針

海とみどりに抱かれた「やすらぎ」と「うるおい」のあるまちを愛し、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を担い、かつ連携を深め、創造力と生きがいを育む教育を推進する。

### 学校教育目標

将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す。

#### 重点事項

- ・ 基礎基本の定着と活用力の向上
- ・ 道徳教育と人権教育の推進
- ・ 健康、体力向上を育む教育の充実
- ・ 開かれた学校と特色ある学校経営の推進
- ・ 教職員の研修の充実と資質の向上

### 生涯教育目標

「かほく市生涯学習推進計画」に基づき、社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう生涯学習社会の実現を目指す。

#### 重点事項

- ・ 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進
- ・ 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化
- ・ 豊かな心を育むための青少年教育の推進
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進
- ・ 国際社会に対応するための国際理解教育の推進
- ・ 生きがいづくりに向けた文化活動の推進
- ・ 子どもの豊かな心を育むための読書活動の推進

### スポーツ振興目標

「かほく市スポーツ振興計画」に基づき、市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指す。

#### 重点事項

- ・ 生涯スポーツ活動の推進
- ・ 児童生徒の体力・運動能力の向上
- ・ 競技スポーツの充実・強化
- ・ スポーツ施設の整備・充実

# 目 次

1	教育委員会の活動状況	1
	(1) 教育委員会会議の開催状況	1
	(2) 教育委員会会議の審議状況	1
	(3) 教育委員の主な活動状況	4
2	点検及び評価	5
	施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成 を目指して【学校教育課・教育センター】	
	1 基礎基本の定着と活用力の向上	6
	2 道徳教育と人権教育の推進	7
	3 健康、体力向上を育む教育の充実	8
	4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進	9
	5 教職員の研修の充実と資質の向上	10
	6 就学環境の向上による学校教育の推進	11
	施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう 生涯学習社会を目指して【生涯学習課】	
	1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進	13
	2 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化	14
	3 豊かな心を育むための青少年教育の推進	16
	4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進	17
	5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進	17
	6 生きがいづくりに向けた文化活動の推進	18
	7 子どもの豊かな心を育むための読書活動の推進	19
	8 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進	20
	施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな 生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して 【生涯学習課(旧体育振興課)】	
	1 生涯スポーツ活動の推進	22
	2 児童生徒の体力・運動能力の向上	23
	3 競技スポーツの充実・強化	24
	4 スポーツ施設の整備・充実	26
	資料	28

# 1 教育委員会の活動状況

## (1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を、また、必要に応じ臨時会を開催し、平成21年度は18回開催しました。

教育委員会定例会・・・12回

教育委員会臨時会・・・6回

## (2) 教育委員会会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「かほく市教育委員会事務委任規則」の規定に基づき、平成21年度は44件について審議しました。

### 平成21年度教育委員会会議開催状況

回(開催日)	審議決定事項
平成21年第4回 (平成21年4月24日)	議案第20号 かほく市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>かほく市奨学生選考委員会の委員選出について</li> <li>平成21年度かほく市立小・中学校管理職・主任について</li> <li>平成21年度かほく市教育委員会事務局組織図について</li> <li>平成21年度河北郡市教育委員会連合会定期総会について</li> <li>平成21年度石川縣市町教育委員会連合会定期総会について</li> <li>平成21年度石川縣市町教育委員会連合会研究大会について</li> <li>平成21年度市町教育委員会教育長会議報告について</li> <li>平成21年度主な新規及び継続 国・県・市事業について</li> </ul>
平成21年第5回 (平成21年5月18日)	議案第21号 平成21年度準要保護児童生徒の認定について
平成21年第1回臨時 (平成21年6月11日)	議案第22号 学校給食用パンへの食害虫の混入について
平成21年第2回臨時 (平成21年6月17日)	議案第23号 学校給食用パン工場調査及び学校給食におけるパン食の再開について 議案第24号 平成22年度から使用予定の中学校教科用図書の展示について
平成21年第6回 (平成21年6月25日)	議案第25号 平成21年度準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度6月補正予算について</li> <li>委員の確定について(かほく市就学指導委員ほか8件)</li> <li>平成21年度加賀地区中学校体育大会兼県体予選会の結果について</li> <li>新ALTの採用について</li> </ul>
平成21年第3回臨時 (平成21年7月2日)	議案第26号 教職員の処分の内申について

回（開催日）	審議決定事項
平成21年第7回 (平成21年7月29日)	<p>議案第27号 平成21年度準要保護児童生徒の追加認定について            議案第28号 平成22年度使用中学校教科用図書採択について            議案第29号 かほく市公務災害補償等審査会委員の推薦について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度石川県中学校体育大会の結果について</li> <li>平成21年度第2回かほく市社会教育委員会議結果報告について</li> <li>国登録有形文化財「骨清窟」の移築について</li> <li>平成21年度姉妹都市交流（青少年訪問団受入）について</li> <li>第61回石川県民体育大会について</li> <li>平成21年度学力テストの結果について（県、市）</li> </ul>
平成21年第4回臨時 (平成21年8月18日)	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型インフルエンザの対応について</li> <li>第31回北信越中学校総合競技大会の結果について</li> <li>第61回石川県民体育大会の結果について</li> </ul>
平成21年第8回 (平成21年8月26日)	<p>議案第30号 平成21年度準要保護児童生徒の追加認定について            議案第31号 かほく市教育委員会表彰規程の一部改正について</p>
平成21年第9回 (平成21年9月24日)	<p>議案第32号 平成21年度準要保護児童生徒の追加認定について            議案第33号 平成21年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度全国学力・学習状況調査結果について</li> <li>児童生徒の交通事故防止について</li> <li>平成21年度8月専決補正・9月補正について</li> </ul>
平成21年第5回臨時 (平成21年10月19日)	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宇ノ気中学校の新型インフルエンザ発生に係る今後の対応について</li> </ul>
平成21年第10回 (平成21年10月28日)	<p>議案第34号 かほく市スクールバス使用規程の一部改正について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かほく市教育委員会点検・評価報告書について</li> <li>平成21年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について（追加）</li> <li>平成21年度河北郡市中学校新人体育大会の結果について</li> <li>平成21年度第3回かほく市社会教育委員会議結果報告について</li> <li>旧西田幾多郎邸「骨清窟」の移築計画について</li> <li>小中学校新型インフルエンザ状況について</li> </ul>
平成21年第6回臨時 (平成21年11月11日)	<p>議案第35号 平成21年度（平成20年度対象）かほく市教育委員会点検及び評価報告書について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集団かぜ発生時の学校の臨時休業等について</li> </ul>
平成21年第11回 (平成21年11月25日)	<p>議案第36号 平成21年度準要保護児童生徒の追加認定について            議案第37号 かほく市立学校管理規則の一部改正について</p>
平成21年第12回 (平成21年12月18日)	<p>議案第38号 平成21年度準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度かほく市就学指導委員会の結果について</li> <li>平成21年度12月補正予算について</li> <li>平成21年度第4回かほく市社会教育委員会議結果報告について</li> <li>旧西田幾多郎書斎「骨清窟」の移築計画について</li> </ul>

回（開催日）	審議決定事項
平成22年第1回 (平成22年 1月20日)	議案第 1号 平成21年度準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 2号 かほく市教育委員会委員長の選挙について
平成22年第2回 (平成22年 2月24日)	議案第 3号 かほく市立学校管理規則の一部を改正する規則について 議案第 4号 かほく市立図書館条例施行規則等の一部を改正する規則について 議案第 5号 かほく市埋蔵文化財調査委員会設置規則を廃止する規則について 議案第 6号 平成21年度準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 7号 スポーツ施設の整備計画について 報告事項 ・ 準要保護児童から要保護児童への変更について ・ 平成21年度2月補正予算について
平成22年第3回 (平成22年 3月25日)	議案第 8号 平成22年度かほく市教育方針について 議案第 9号 かほく市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 議案第10号 かほく市スポーツ振興審議会条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第11号 かほく市教育委員会決裁規程の一部を改正する規程について 議案第12号 かほく市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する規程について 議案第13号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 議案第14号 かほく市就学指導委員会委員の委嘱について 議案第15号 かほく市奨学生選考委員会委員の委嘱について 議案第16号 かほく市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第17号 かほく市公民館長の任命について 議案第18号 かほく市社会教育委員の委嘱について 議案第19号 石川県西田幾多郎記念哲学館運営委員会委員の委嘱について 議案第20号 かほく市文化財審議会委員の任命について 議案第21号 かほく市少年愛護センター運営委員会委員の任命について 議案第22号 かほく市少年愛護センター少年愛護員の委嘱について 議案第23号 学校施設管理員の任命について 議案第24号 かほく市スポーツ振興審議会委員の任命について 議案第25号 かほく市体育指導委員の委嘱について 報告事項 ・ 平成21年度3月補正予算について ・ 平成22年度教育部予算について ・ 平成22年度かほく市教育委員会嘱託職員の新規採用について ・ 平成22年度かほく市社会教育関係団体への補助金交付について ・ 平成21年度第5回かほく市社会教育委員会議結果報告について ・ 平成22年度教育部各所管の年間行事予定について

( 3 ) 教育委員の主な活動状況

教育委員が出席した活動等

年月日	活動内容
平成21年 4月 3日	平成21年度初任、新任教職員辞令交付式
平成21年 4月 6日	平成21年度かほく市立小中学校入学式
平成21年 4月21日	石川縣市町教育委員会連合会第1回理事会
平成21年 5月 7日	平成21年度河北郡市教育委員会連合会定期総会
平成21年 5月 8日	平成21年度石川縣市町教育委員会連合会定期総会
平成21年 6月 7日	第6回かほく市総合体育大会
平成21年 6月22日	かほく市教育委員会前期学校訪問(外日角小学校、宇ノ気小学校、高松小学校)
平成21年 6月25日	かほく市教育委員会前期学校訪問(高松中学校、河北台中学校、宇ノ気中学校)
平成21年 7月 2日	かほく市教育委員会前期学校訪問(大海小学校、七塚小学校、金津小学校)
平成21年 7月17日	第61回石川県民体育大会出場選手壮行会
平成21年 7月30日	石川縣市町教育委員会セミナー
平成21年 8月 8日	第61回石川県民体育大会(～8月9日)
平成21年 8月30日	サンドヒルかほく市2009グラウンド・ゴルフ大会
平成21年 9月 4日	石川縣市町教育委員会連合会第2回理事会
平成21年 9月 5日	中学校運動会(高松中学校、宇ノ気中学校)
平成21年 9月 6日	中学校運動会(河北台中学校)
平成21年 9月13日	小学校運動会(高松小学校、七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校、金津小学校)
平成21年 9月26日	小学校運動会(大海小学校)
平成21年10月16日	平成21年度石川縣市町教育委員会連合会研究大会
平成21年10月31日	平成21年度かほく市教育委員会表彰式
平成22年 1月10日	第6回かほく市成人式
平成22年 2月 2日	第6回かほく市立志式
平成22年 2月 5日	石川縣市町新任教育委員研修会
平成22年 2月 9日	かほく市教育委員会後期学校訪問(七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校)
平成22年 2月16日	かほく市教育委員会後期学校訪問(金津小学校、河北台中学校、宇ノ気中学校)
平成22年 2月24日	かほく市教育委員会後期学校訪問(高松中学校、高松小学校、大海小学校)
平成22年 3月 7日	第6回かほく市制施行記念継走大会
平成22年 3月13日	平成21年度かほく市立中学校卒業式
平成22年 3月19日	平成21年度かほく市立小学校卒業式



## 2 点検及び評価

### (1) 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、「かほく市の教育方針」に基づき平成21年度に実施した具体的な施策とします。

### (2) 点検及び評価の方法

点検及び評価は、施策に基づく事業内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題などを示しています。

また、点検及び評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する方として、石川県立看護大学人間科学領域教授の武山雅志氏、かほく市教育長を経験された吉寄奨氏、かほく市教育委員を経験された宮前昭夫氏から様々な意見や助言を得ました。

### (3) 主な意見等

- 全体的に限りある予算の中、多岐にわたる充実した取組がなされていると感じることができ、特にかほく市内の小中学校の耐震化率が100%となったことは、全国の状況に比べて安心できる学習環境の確保がなされていることであり、評価できるものである。
- 学校教育研究事業などの研究主題にあるように、児童生徒の学習に関する意欲の向上が必要であるが、すぐには成果が得られるものではないことから、具体的な成果や今後の課題について検証する必要がある。
- 市民憲章推進本部事業として「早寝 早起き 朝ごはん運動」、「交通安全・あいさつ運動」を実施しているが、更なる市民への普及活動を行うとともに、新たな視点から市民憲章の実践を行っていくメニューの新設も検討されたい。
- 家庭教育力の向上は、青少年の健全な育成において最も大切な部分のひとつであり、自己中心的な考え方を是正することにより若者の粗暴な行動や犯罪の増加などを抑制するため、家庭でできることを具体的に示して取り組む運動を推進するとともに、地域とも連携し、生涯学習活動の発露の場として児童生徒と高齢者との交流事業を継続的に実施し、学校教育においても人権教育により命の大切さを児童生徒が実感しつつ習得する取組を継続して行っていくことが大切である。
- 成人式は新成人自身の手によって進行しており、今後、社会に羽ばたく新成人が当該事業の狙いである地域コミュニティづくりの核になるための機会となることから、今後も同様の形式で実施していただきたい。

これらの意見なども踏まえて、今後の教育行政において創意工夫を図り、かほく市の教育を推進していきます。

# 施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指して

【学校教育課・教育センター】

## 1 基礎基本の定着と活用力の向上

主な取組

### (1) 市学校教育研究事業（600千円）

校内研究を深め、学校教育の振興及び児童生徒の学力の向上を推進した。

- ・ 宇ノ気小学校（平成20～21年度：市指定）  
研究主題 「学ぶ意欲を育てる授業の創造」  
副 題 - 教えて考えさせる授業を通して -  
発表期日 平成21年11月27日（金）
- ・ 宇ノ気中学校（平成21～22年度：県・市指定）  
研究主題 「意欲を持って学習に取り組む生徒の育成」  
副 題 - 「活用力」向上のための指導法の工夫 -

### (2) 児童生徒の「活用力」向上モデル事業（442千円）

児童生徒の知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などを高めるための方策について実践研究を行った。

- ・ 外日角小学校（平成20～21年度）  
研究主題 「自ら考え、学び合う子どもをめざして」  
副 題 - 書くことを通して -  
発表期日 平成21年10月30日（金）
- ・ 宇ノ気中学校（平成20～21年度）  
研究主題 「意欲を持って学習に取り組む生徒の育成」  
副 題 - 基礎・基本の定着と表現力をつける指導法の工夫 -  
発表期日 平成21年11月20日（金）

### (3) 小学校補充学習サポーター派遣モデル事業（320千円）

児童の学習意欲を高めることを目的として、放課後に外部講師2人が補充学習を希望する3年生、4年生を対象とし、月2回算数の補充学習を行った。

- ・ 七塚小学校（平成20～21年度）

### (4) 学力調査の実施（1,463千円）

国・県の学力調査に加え市独自の調査として、小学校5年生（国語、算数、意識調査）、中学校1年生（国語、数学、理科、意識調査）、中学校2年生（国語、数学、英語、意識調査）について実施することにより児童生徒の学力を把握し、的確な指導を推進した。

### (5) 特別支援教育体制の推進（19,199千円）

特別支援学級配置校において、児童の障害に応じて支援員を8人（高松小1人、七塚小1人、外日角小1人、宇ノ気小5人）配置し、学級活動に必要な支援を行った。

緊急雇用創出事業により平成21年9月から通常学級における配慮が必要な児童に応じて学級補助員9人（高松小2人、大海小1人、外日角小2人、宇ノ気小4人）を順次配置し、学級活動に必要な支援を行った。

生徒の悩み事の相談を受けるために心の教室相談員3人を週3回各中学校に配置し、相談者に適切な助言を行った（相談件数623件）。

生徒の臨床心理に関する専門家として、スクールカウンセラー4人を週1回宇ノ気小学校及び各中学校へ派遣し、相談者や関係者に対し問題解決への指導・助言を行った（相談件数755件）。

主な取組	<p>(6) 小学校英語活動及び中学校英語教育の充実 (16,445 千円)</p> <p>市内小中学校の英語活動及び英語授業を推進するため、外国青年招致事業による ALT (外国語指導助手) 3 人を配置した。</p> <p>中学校区別研修会に元東京都誠之小学校教諭三浦邦子氏、関西大学初等部開設準備委員梅本龍多氏、昭和女子大学付属小学校副校長小泉清裕氏を講師として招いた。また、中学校教諭と ALT による小学校 6 年生への出前授業に石川県教育センター今井京氏(2 回)、金沢教育事務所指導主事松田英樹氏を講師として招いた。</p> <p>中学校生徒の英語力の向上を目指すとともに、目標に向けての学習意欲の向上を推進するため、英検検定料を年 1 回に限り補助する中学校英語力向上事業を平成 21 年度から実施した。</p>
------	--

評価	<p>各事業の実施による基礎・基本の学力向上に加えて、活用力の向上の取組も推進することができた。今後は学力調査などの結果を踏まえて学力実態の把握・分析を進め、「生きる力」の更なる向上を目指して、きめ細やかな教育の実施に努めていく。</p> <p>特別支援教育支援員及び学級補助員の配置は、児童生徒の安定した学校生活に必要な不可欠であり、今後も各学校の実態に即した配置を行う必要がある。また、市就学指導委員会が当該児童生徒の現状を見極め、個に応じた指導・支援が図られている。</p> <p>外国語指導助手の活動は、中学校の英語指導助手として、また、小学校の英語活動を推進するために一層の充実を図っていく必要がある。さらに、外部講師を招いての研修会の実施による小学校の英語活動の指導法の習得を図っており、今後も継続して実施する必要がある。なお、本年度から実施した中学校英語力向上事業は、生徒の学習意欲の向上に寄与しており、継続して実施を行う必要がある。</p>
----	--

## 2 道徳教育と人権教育の推進

主な取組	<p>(1) 共通道徳への取組 (777 千円)</p> <p>平成 20 年度にモデル校が取り組んだ成果を基に小学校 5 年生、中学校 2 年生が郷土の偉人である西田幾多郎博士を取り上げ、石川県西田幾多郎記念哲学館も活用し、共通道徳授業を行った。</p> <p>市内各小学校の 5 年生の学級に「西田幾多郎伝記本」を配置し、道徳教育に活用した。</p> <p>市内各小中学校から道徳教育推進教師 1 人の参加により共通道徳推進委員会を設置し、実践事例集及び指導資料集を作成して各校に配付した。</p> <p>(2) 学校図書館司書の配置 (10,787 千円)</p> <p>全小学校に学校図書館司書 5 人(うち 1 人は大海小学校と金津小学校を兼務)を配置し、10 回の図書館司書研修会で共通理解を図り、子どもたちの読書生活を豊かにするとともに、課題解決学習などの有効活用を促進した。また、平成 21 年度から図書館司書を週 1 回中学校へ派遣し、生徒の読書活動の支援を行った。</p> <p>(3) 芸術鑑賞推進事業 (1,046 千円)</p> <p>優れた舞台芸術を鑑賞することによる豊かな情操の涵養を図るため、河北台中学校でオーケストラアンサンブル金沢の演奏会を、七塚小学校及び外日角小学校低学年を対象として劇団コーロによる「三びきの子ぶた」のスクールシアター鑑賞を、高松小学校及び大海小学校高学年を対象として古典芸能鑑賞教室を実施した。</p> <p>(4) 人権教育推進事業 (400 千円)</p> <p>豊かな心を育み、人権意識を高めることを目的として、劇団民話芸術座「人魚の海」を高松中学校で、「河童の笛」を宇ノ気小学校で実施した。</p>
------	--

評価	<p>道徳において、本市出身の哲学者である西田幾多郎博士を取り上げ、氏の生き方に学び、共感することにより児童生徒の道徳心を涵養することは、心の教育の一環として有効であり、今後も全ての小中学校の児童生徒を対象に共通道徳として継続して実施する。</p> <p>子どもの読書活動を推進するためには、図書館司書の役割が重要であり、資料の収集や整理を行い、レファレンス活動を推進するとともに、市立図書館との連携、司書研修などの充実に努めた。小学校の図書の出冊数も増加しており、子どもの意欲的な読書活動推進に寄与した。なお、司書を定期的に中学校へ派遣することにより中学校の読書環境の向上も図ることができた。</p> <p>生きた本物の芸術鑑賞を行い、また、人権教育を推進することは、次代を担う子供たちの豊かな心を育み、思いやりの心を涵養することから、対象校を選定しつつ継続して実施することが重要である。</p>
----	---

### 3 健康、体力向上を育む教育の充実

主な取組	<p>(1) 体力向上推進  児童のスポーツに対する関心を高めることを目的として、県が推進するスポチャレいしかわへ市内小学校登録目標100%を達成した。  体力アップ1校1プランにおいて、各小中学校が設定した目標に対する成果・課題を検証し、児童生徒の体力アップに取り組んだ。</p> <p>(2) 大会出場派遣事業(9,986千円)  県大会、北陸信越大会、全国大会などに出場する中学校の部活動に対し交通費等を補助し、部活動の振興を図った。</p> <p>(3) 食育教育の推進  児童生徒の食に関する知識と食を選択する力を育成するために、給食便りの発行や栄養教諭などによる食育教育の推進に加えて、児童生徒が稲作、かぼっくり、紋平柿などの農業体験や生産者との交流会なども実施した。</p> <p>(4) 学校給食事業(282,594千円)  成長期にある児童生徒にバランスのとれた安全・安心な食事を提供(3,660食/日)した。  保護者を対象とした試食会の開催や地産地消への取組として地元産材の活用を行った。特に学校米飯給食は、4月から河北郡市産を、10月からかほく市瀬戸町、鉢伏産コシヒカリ1等米を提供した。さらに、12月から2月にかけてパン給食に米粉パンの試験導入を行った。</p> <p>(5) 教育相談事業(226千円)  不登校やいじめなどの電話相談、臨床心理士による教育相談を行った。  (来所 102件、出張 38件、電話 61件)  教育支援センター「すまいる」は、児童生徒(11人)の心のケアをしつつ学級への復帰を支援した。</p> <p>(6) 問題を抱える子ども等の自立支援事業(406千円)  臨床心理士の木場清子氏、社会福祉士の松村和雄氏による保護者、教職員への指導助言を行った。  学生ボランティアなど4人が相談室等を通じて不登校児童生徒の学級復帰を支援した。</p>
------	---

評価	<p>全国体力・運動能力調査の結果の分析を進め、より効果的な体育授業や部活動指導を推進する必要がある。また、部活動の大会派遣補助事業の実施により保護者負担を軽減し、部活動の活性化を推進することができ、学校体育の振興を図ることができた。</p> <p>平成21年度から実施しているかほく市食育推進計画に基づき、学校現場で様々な食育推進に資する事業を行うことができた。また、市民憲章推進本部が実施している「早寝 早起き 朝ごはん運動」の更なる推進のために、家庭、地域、学校との連携による基本的な生活習慣の改善にも取り組んでいく必要がある。</p> <p>学校給食においては、食の安全に細心の注意を払いつつ地産地消の取組も推進することができた。今後も学校給食を通じて児童生徒の食に関する適切な判断力を涵養し、健康で豊かな人間を育む基礎となる取組を推進する必要がある。また、アレルギーのある児童生徒に対し十分な配慮を行うため、家庭と更なる連携をとっていく必要性がある。</p> <p>教育支援センターの事業については、通室生の生活や学習課題に対応する学習プログラムの構築や通室に係る交通手段などの課題もあるが、指導員、学校、家庭との密接な連携を行うことが重要である。また、通室生が増加傾向にあることから、課題解決に向けて更に適切な支援体制の充実が求められている。</p>
----	---

#### 4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進

主な取組	<p>(1) 学校評価の実施 各学校の目標達成状況や達成に向けた取組の適切さについて評価することにより学校として組織的・継続的に改善を行った。</p> <p>(2) 学校支援委員会の設置 地域の有識者による学校支援委員会を全ての学校に設置し、学校運営に関して助言等を行うことによって学校を支援した。</p>
------	---

評価	<p>学校経営について、学校関係者による評価を受け、必要な改善を行うことは、より開かれた学校を推進する上で必要不可欠となる。また、学校支援委員会による様々な助言を学校運営に生かすことにより地域と学校の密接な連携を促進し、地域に根ざした学校の運営を促進することとなるので、引き続き強化し実施していく。なお、市教育委員会教育方針に基づく学校教育目標の達成を図るため、学校の短期経営目標の具体化を図り、評価時にその成果を検証する必要があることから、今後統一的に実施していくこととする。</p>
----	---

## 5 教職員の研修の充実と資質の向上

主 な 取 組	<p>(1) かほく市指定研究（ 1 基礎基本の定着と活用力の向上(1)市学校教育研究事業に含む） 学校教育研究校を指定（宇ノ気小学校、宇ノ気中学校）し、指導方法の向上について研究を行い教職員の共通理解を深めた。</p> <p>(2) 校内研修の充実 県教育委員会との連携により実施し、教職員の資質向上を図った。</p> <p>(3) 指導主事学校訪問 学校の指導方針に基づく実際の授業の進め方などについて、指導主事が直接学校に対し指導・助言を行った。</p> <p>(4) 市学校教育研究会（650 千円） 教職員が教育課程研究部会などの 8 部会を組織し、学校教育のあり方などについて研究し、県外視察及び教職員研修会の実施により本市の学校教育の向上を推進した。</p> <p>(5) 市教育センターによる研修会（172 千円） 教職員の質を高めることを目的とする教育講演会に真生会富山病院心療内科部長の明橋大二氏を招聘した。その他、新任教職員研修（1 回）、学力向上研修（5 回）、小学校英語活動研修（6 回）などを実施した。</p>
------------------	---

評 価	<p>指定研究の実施で得られた成果を発表会などにおいて公開することにより他校の教職員への指導方法の向上や共通理解に資することができた。また、効果的な指導法を習得し授業に生かすため、次年度もより充実した取組を継続して実施していく必要がある。</p> <p>指導主事訪問、学校教育研究会、教育センターによる研修会を通じて様々な課題に対する指導法を習得するなど教職員の資質の向上を図ることができた。今後も学校教育研究会との連携を更に深め、先進地の事例なども収集し、効果的な研修形態を構築していく必要がある。</p>
--------	--

## 6 就学環境の向上による学校教育の推進

主 な 取 組	<p>(1) 要・準要保護児童就学援助事業（18,627 千円） 経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒 3 1 2 人の保護者に対し学校に係る費用の一部を援助した。</p> <p>(2) 特別支援教育就学奨励費補助金（914 千円） 特別支援学級に就学する児童生徒 2 4 人の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育に資する費用の一部を助成した。</p> <p>(3) 幼児教育補助金（18,660 千円） 保護者の負担軽減のため、所得に応じて幼稚園就園奨励金を 1 7 3 人に交付した。 幼児教育振興のため、市内私立幼稚園 2 園（木津幼稚園、うのけ幼稚園）に対し運営補助金を交付した。</p> <p>(4) 育英奨学補助金（1,557 千円） 経済的事情により就学が困難な高校生 1 6 人に対し奨学資金を支給した。</p> <p>(5) 学校施設整備事業</p> <p>高松小学校整備事業（103,530 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水泳プールの全面改修工事を施工した。</li> <li>・ 教育環境改善のため、建具改修、照明器具改修工事を施工した。</li> <li>・ 校務の情報化に対応するため、教職員用パソコン 2 3 台を配置した。</li> </ul> <p>大海小学校整備事業（107,394 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育環境の改善のため、建具改修、照明器具改修工事を施工した。</li> <li>・ 屋内運動場の耐震補強工事を施工した。</li> <li>・ 校務の情報化に対応するため、教職員用パソコン 1 3 台を配置した。</li> </ul> <p>七塚小学校整備事業（74,481 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育環境の改善のため、トイレ設備改修、建具改修、照明器具改修、屋外運動場の防球ネット設置工事を施工した。</li> </ul> <p>外日角小学校整備事業（61,568 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育環境の改善のため、建具改修、照明器具改修工事を施工した。</li> <li>・ 児童の通学環境向上のため、通学路改修工事を施工した。</li> </ul> <p>宇ノ気小学校整備事業（171,738 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育環境の改善のため、空調設備改修、建具改修工事を施工した。</li> <li>・ 校務の情報化に対応するため、校内 LAN 整備、パソコン教室の機器を更新した。</li> </ul> <p>金津小学校整備事業（42,402 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育環境の改善のため、建具改修、照明器具改修、網戸設置、落下防止工事を施工した。</li> <li>・ 校務の情報化に対応するため、教職員用パソコン 1 2 台を配置した。</li> </ul> <p>高松中学校整備事業（55,420 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育環境の改善のため、建具改修、照明器具改修、屋内運動場のバルコニー改修、床塗装、特別教室棟防水、外灯整備工事を施工した。</li> <li>・ 新学習指導要領に対応するため、老朽化していた柔道場の畳を更新した。</li> </ul> <p>河北台中学校整備事業（1,260 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化した講演台を更新した。</li> </ul> <p>宇ノ気中学校整備事業（1,050 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車通学生徒の増加に対応するため、隣接地に駐輪施設を増設した。</li> </ul>
------------------	---

主な取組	<p>学校 I C T 環境整備事業 (107,434 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地上放送デジタル化に備え、デジタルテレビ 156 台の設置などの整備を行った。</li> <li>・ 七塚小学校及び外日角小学校のパソコン教室用機器、教職員用パソコン、校内 LAN 設備を更新した。</li> </ul> <p>(6) スクールバス運行事業 (25,469 千円)</p> <p>スクールバス 4 台を運行し、宇ノ気小学校、金津小学校、大海小学校の遠方児童を送迎した。校外活動などの学校行事、各種大会などへの児童生徒の送迎にスクールバスを活用した。老朽化が進んだ「きらめき号」(45 人乗り)を更新した。</p> <p>(7) 生徒通学用安全着補助事業 (379 千円)</p> <p>通学時の安全を向上させるため、自転車通学を行う中学校生徒のヘルメットなどの購入費用の一部を補助した。</p> <p>(8) 安全・安心のための取組</p> <p>各小中学校において、登下校に関する児童生徒の安全確保のため、地域住民や P T A の協力による学校安全ボランティアなどの活動により登下校時の安全を確保した。</p> <p>「学校安心メール」を市政などの情報を配信する「いいメールかほく」内に統合し、保護者へ登録を呼びかけるとともに、必要な情報を発信した。</p>
------	--

評価	<p>経済的理由で就学が困難な児童生徒に対し必要な援助を行うことにより円滑な義務教育の実施を図ることができた。特別支援教育に係る補助も含めて安定した就学の保障を行うことは、教育の機会均等の精神に基づくものであることから、今後も継続して実施していく必要がある。</p> <p>幼児教育補助金交付の実施により幼児教育の普及充実を図ることができた。保護者のニーズに応じた保育園・幼稚園の選択ができる環境を今後も維持していくためにも必要となる。</p> <p>育英奨学補助金により高等学校などへの就学を支援することができた。また、受給者は受給の要件である学業成績の維持にも努めることとなり、修学の向上が図られた。</p> <p>大海小学校の屋内運動場の耐震補強工事完了により市内の学校施設の耐震化が 100% となり、安全・安心な学校施設環境の整備としての耐震化事業が完了した。高松小学校では、旧高松町民プールを学校水泳プールとして利用していたが、児童の体格とプール規格が不適合で危険な状態だったため、全面改修の実施により安全なプール施設となり、教育環境整備の向上が図られた。</p> <p>温室効果ガスの排出量の削減のため、学校施設での省エネ性能確保した断熱建具改修、高効率照明改修、節水型トイレ改修、省エネ暖房施設改修などを実施することにより全世界規模で懸念されている地球温暖化対策を推進できた。</p> <p>地上アナログ放送の停止に備え、学校で活用されているアナログテレビをデジタルテレビに更新を行うとともに、I C T 活用の指導力向上及び校務の負担軽減のため、パソコン機器、LAN 設備などの更新を行うことにより最新の情報化に対応する環境を構築することができた。</p> <p>そのほか、学校施設において必要となる改修や整備についても随時実施し、安全な就学環境を維持することができた。</p> <p>遠隔地の児童へのスクールバスによる送迎に加え、老朽化の激しい「きらめき号」の車輛更新を行い、地域住民による見守りを実施したことによって児童生徒の登下校時の安全・安心が図られた。但し、取組には学校によって違いが見られ、今後は各学校の実態に即した対策を講じる必要があり、また、「いいメールかほく」の登録率を向上するための更なる周知活動を実施する必要がある。</p>
----	--



## 施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう 生涯学習社会を目指して

【生涯学習課】

### 1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進

主な取組	<p>(1) 市民憲章推進本部事業（生涯学習推進事業の一部） 「早寝 早起き 朝ごはん運動」を展開した。</p> <p>(2) 親子ふれあい事業（生涯学習推進事業・文化財保護事業の一部） 親子歴史体験教室を開催した。 親子天体望遠鏡づくり教室を開催した。</p>
------	---

評価	<p>各種親子体験教室、「早寝 早起き 朝ごはん運動」の展開など、親子で参加する事業や生活習慣の改善に関する取組を実施し、親子のコミュニケーションや絆を深め、「子どもの社会性を育む学びの場としての家庭」、「子どもの心の居場所としての家庭」の機能を高める事業を進めた。</p> <p>特に親子ふれあい事業の参加者（保護者）の声を聴く限り、当該事業が親子のコミュニケーションと絆を深める良い機会となったものと考えており、深い絆をもった親子関係の促進は、家庭の教育力の向上につながるものと考えている。</p> <p>今後も家族のコミュニケーションの促進を図り、連帯感を強めるような取組を展開していきたいと考えている。</p> <p>また、「早寝 早起き 朝ごはん運動」の推進にあたっては、各種団体や学校・地域との一体的連携による運動を進めていくことが、より大切と考えている。</p>
----	--

## 2 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化

主 な 取 組	<p>(1) 公民館管理運営事業 (26,415 千円)</p> <p>市内各地区 (七塚・宇ノ気地域) の公民館活動を推進するため、運営費補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり推進事業補助金 (16 件)</li> </ul> <p>各中学校区単位で、社会教育的あるいは生涯学習的事業を展開し、地域の連帯の強化や地域力の向上を図った。</p> <p><b>【高松地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども太鼓教室 19 回</li> <li>・ 子ども囲碁教室 40 回</li> <li>・ ウィークエンドサークル (大海っ子いきいきサークル) 7 回</li> <li>・ 高齢者教室 (お達者くらぶ) 3 回</li> </ul> <p><b>【七塚地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七塚地区公民館グラウンド・ゴルフ大会開催</li> <li>・ 子どもかるた教室 10 回</li> <li>・ 夏休みお楽しみ教室 4 回</li> <li>・ 高齢者講座 (ふれあい大学) 4 回</li> </ul> <p><b>【宇ノ気地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇ノ気中学校区市民交流 (ビーチバレー) 大会開催</li> <li>・ 子ども煎茶教室 11 回</li> <li>・ 夏休み教室 3 回</li> <li>・ 花てまりづくり教室 24 回</li> <li>・ 一般対象教室 (いきいき講座) 3 回</li> </ul> <p>放課後子ども教室推進事業として、学校・地域・家庭との連携により放課後の子どもたちの異学年交流を図りながら体験活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校単位で 6 教室開催</li> <li>・ 登録者数：224 人 年実施回数：137 回</li> </ul> <p>地域の公民館の良好な環境を維持することで、地域コミュニティ形成の場としての機能を確保した。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区公民館の修繕           <ul style="list-style-type: none"> <li>宇野気公民館外壁改修</li> <li>木津公民館老朽照明取替</li> <li>宇気公民館外壁修繕</li> <li>長柄町公民館外壁修繕</li> <li>二ツ屋公民館トイレ改修</li> <li>内日角公民館屋根塗装</li> <li>大崎公民館雨漏修繕</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 地域ぐるみの学校支援推進事業 (2,891 千円)</p> <p>地域全体で学校教育を支援し、地域ぐるみで子どもの教育を推進し、地域の教育力向上などを図る取組として、文部科学省の委託事業を受け、学校支援活動についての組織・体制を整備し、ボランティア活動を展開した。</p> <p>(3) 各種団体補助負担金 (7,689 千円)</p> <p>市内 11 の団体組織に社会教育的活動を支援するため補助金を交付した。</p> <p>(主な交付団体) 女性協議会、各種女性団体連絡協議会、子ども会連絡協議会、文化協会、PTA 連合会、国際交流協会</p>
------------------	--

地区公民館は、地域の自治公民館として地域が主体となって、地域づくり、青少年の健全育成など地域住民を対象とした活動を行った。また、老朽化した施設が多く、限られた予算の中、施設・設備の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。

今後も各施設の老朽化に伴う修繕が予想され、区・町会の自治会と公民館の位置付けや在り方などについて引き続き協議・検討が必要である。

放課後子ども教室推進事業は、これまでスポーツや文化芸術活動などを内容として、地域住民の参画を得て、異学年交流を目的として週1回実施し、子どもの安全・安心な居場所づくりに効果をあげてきた。しかし、各種スポーツクラブや習い事などの兼ね合いから高学年児童の参加が減少傾向にあること、また、平成21年度から一部先行実施された新しい学習指導要領による授業時間数の増加によって4年生以上の参加が見込まれない状況にあることから、平成22年度からは週末の土曜日開催としたい。

学校教育を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々をボランティアとして派遣することができた。本事業の学校支援ボランティアの存在が、コーディネーターの活動、広報誌やボランティアだよりの配付、ホームページ掲載などの啓発活動によって市民の間で少しずつではあるが、注目され、関心を持たれるようになってきた。今後は今まで以上に市民に対し取組や活動を周知し、各種団体等の参加を得て、地域住民の連帯と融和、教育力の向上につなげていきたいと考えている。

また、地域の大人と子どもの交流を図る地域支援型事業である放課後子ども教室推進事業及び地域ぐるみの学校支援推進事業を推進することで、大人の子どもたちへの関心を深め、地域や家庭の教育力の向上を図っていきたい。

### 3 豊かな心を育むための青少年教育の推進

主 な 取 組	<p>(1) 成人式・立志式開催費（1,176千円）</p> <p>成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人の日を記念して新成人者が社会の一員となったことを自覚し、人として有意義な人生を歩んでいく決意を持って実社会へ門出ができるように祝い励ますことを目的に成人式を開催した。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">期 日 平成22年1月10日（日）</p> <p style="margin-left: 40px;">場 所 河北台中学校講堂</p> <p style="margin-left: 40px;">対象者 404人（うち参加者304人）</p> <p>立志式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の将来に夢や希望を抱き、志を立て、目的意識をもった生き方を考える機会として、立志式及び記念講演会を開催した。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">期 日 平成22年2月2日（火）</p> <p style="margin-left: 40px;">場 所 河北台中学校講堂</p> <p style="margin-left: 40px;">対象者 374人（市内中学2年生）</p> <p style="margin-left: 40px;">内 容 各中学校生徒代表による意見発表</p> <p style="margin-left: 40px;">講演会 講師：岡田卓也 氏 演題：美術を通して学んだこと</p> <p>(2) 少年愛護センター事業（1,734千円）</p> <p>少年愛護センター運営委員会を開催し、少年愛護員が街頭補導活動や有害環境浄化活動などを行い、青少年健全育成に努めた。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巡回補導 少年愛護指導員（月～金 15：00～17：00） 少年愛護員（年間12回×3箇所 19：30～21：00）</li> <li>・ 運営委員会の開催</li> <li>・ 愛護センター会議の開催</li> <li>・ 少年愛護センター会報紙「ふれ愛」作成</li> <li>・ 少年愛護看板作成</li> </ul> <p>(3) 市民憲章推進本部事業（生涯学習推進事業の一部）</p> <p>「交通安全・あいさつ運動」を展開した。</p>
------------------	---

評 価	<p>成人式・立志式は、次代のかほく市を担う青少年を祝福し、自覚を持ってもらう大切な事業であり、この式への参加を通じてかほく市に愛着を持ち、市や地域コミュニティづくりの核になることを願って式を開催している。</p> <p>成人式については、石川県立看護大学の県外出身（住民登録はかほく市）の学生が出身地の成人式に出席することもあり、対象者の75.2%の参加率となっているが、市内3中学校出身者の参加率は80%を超えており、今後も高い参加率維持に努めていきたいと考えている。</p> <p>少年愛護センター事業では、青少年の非行が全国的に増加傾向にある中、かほく市では減少となっている。このことは、少年愛護指導員、少年愛護員などの地道な取組の成果であると考えている。今後も巡回コースの追加、巡回補導回数の増、夏場・冬場の巡回補導時間の検討など、警察との連携を取りながら、青少年非行の防止と健全育成に取り組むたいと考えている。</p> <p>豊かな人間性を培う心の教育を推進するため、「交通安全・あいさつ運動」を実施している。しかし、青少年を取り巻く環境は依然として憂慮すべきものがあることから、引き続き多くの市民が参加できる取組を通じて市民意識の高揚を図ることが必要であると考えている。</p>
--------	--

#### 4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進

主な取組	<p>(1) 男女共同参画社会推進事業（97千円） 市民向けの啓発活動を行うことにより男女共同参画社会に対する意識を形成し、理解を促進した。</p> <p>（事業内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌に男女共同参画特集コーナー「みんなが輝き支え合うまち」特集記事を掲載</li> <li>・ シニア元気セミナー開催【石川中央広域市町村協議会連携事業】</li> <li>・ 男女共同参画啓発講演会の開催 期日：平成21年12月19日（土） 講師：次世代育成サポーター 藤井まり子 氏 演題：男女のらしさから「自分らしさ」へ</li> </ul> <p>(2) 女性教養講座の開催（女性センター管理運営事業の一部） 各種講座などを開催することにより学びの機会を提供し、市内女性の福祉増進を図った。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT講座 4回</li> </ul>
------	--

評価	<p>男女共同参画社会基本法第9条及び第16条の規定により義務付けられている男女共同参画社会の形成の促進に関し男女共同参画社会の実現を目指すため、教育委員会として市民の意識啓発に向けた講座、講演会、広報活動に取り組んでいる。今後も参加しやすい環境づくりを行い、市民の意識啓発の向上に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>女性センター運営事業として、女性の地位向上と積極的な社会参加の促進に資することを目的に、女性を対象とした講座を実施した。今後もニーズに応える講座を開催していきたいと考えている。</p>
----	---

#### 5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進

主な取組	<p>(1) 国際交流事業（7,534千円） ドイツのメスキルヒ市との相互訪問などにより異文化に対する理解を深めるほか、国際交流員を配置し、市国際交流協会との連携による国際理解教室及び語学教室などを開催することにより市民の国際感覚の育成を推進した。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姉妹都市交流事業（青少年受入） 期間：平成21年10月17日（土）～27日（火） 訪問団員：20人 （青少年18人、引率者2人）</li> <li>・ 姉妹都市交流事業（成人受入） 期間：平成21年5月24日（日）～6月4日（木） 訪問団員：12人</li> <li>・ 国際交流員の配置 CIR（国際交流員）1人を配置し、園児から成人を対象に異文化理解教育を推進した。</li> </ul>
------	--

評価	<p>当該事業は、平成16年7月に姉妹都市提携の再調印を行った際、隔年で青少年の相互訪問を行うと位置づけされており、平成21年度は、青少年の受入及び成人の受入を実施した。</p> <p>メスキルヒ市の同年代の子ども達との交流を通じて両市の相互理解と交流を促進し、併せてかほく市の中学生の国際的視野を広げ、国際協力の精神を養い、これからのかほく市を担うにふさわしい青少年リーダーを育成することができた。ただ残念なことに、青少年の受入時期にかほく市内の中学校に新型インフルエンザが蔓延し、一部プログラムの変更を余儀なくされた。</p> <p>今後、姉妹都市交流事業を企画・実施するにあたり、今まで以上に市民や市民団体の積極的な参加を得ることを目指し、市民の国際理解を深める方策について、かほく市国際交流協会と連携しながら模索していく必要があると考えている。</p>
----	--

## 6 生きがいづくりに向けた文化活動の推進

主な取組	<p>(1) 生涯学習推進事業(3,885千円)</p> <p>市民の学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催するとともに、職員出前講座のほか市民向けの講座等を実施した。</p> <p>また、かほく市内の文化活動団体紹介チラシを全戸配付した。</p> <p>第6回生涯学習フェスティバル</p> <p>期 間 平成21年10月31日(土)～11月1日(日)</p> <p>会 場 河北台中学校講堂、河北台健民体育館など</p> <p>内 容 芸能発表会、各種展示会、フリーマーケット、囲碁・将棋大会、図書館まつり</p> <p>記念講演 講師：石原良純 氏 演題：空を見よう</p> <p>併せて市健康まつり(健康福祉課主管)を開催した。</p> <p>地域女性講座(町会区会単位)</p> <p>クリスマスコンサートの開催</p> <p>出前講座(講師は市職員)</p> <p>天体観望会の開催</p> <p>(2) 女性センター管理運営事業(204千円)</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(3) 生涯学習センター管理運営事業(12,422千円)</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋上防水工事等 4,200千円</li> </ul> <p>(4) 勤労青少年ホーム維持管理事業(40,751千円)</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工会宇ノ気支所跡地購入 34,120千円</li> </ul>
------	--

評価	<p>様々な学習意欲を持つ市民に対し文化活動団体に関する情報を提供した。また、学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催したほか、市民向け講座や職員出前講座を実施し、市民の学習意欲の向上を図った。今回の生涯学習フェスティバルでは、新たな取組として女性会によるファッションショー、大崎区の伝統芸能「奴行列」を披露した。今後も新たな内容を取り入れながら、展示会場のレイアウト、展示内容についても改善を加え、より多くの市民に来場していただけるよう検討していきたい。</p> <p>市民に対して良好な生涯学習の場を提供するため、高松女性センター、七塚生涯学習センター、七塚勤労青少年ホーム、宇ノ気勤労青少年ホームの適切な維持管理を行った。引き続き、市民の学習意欲の向上と学習成果を地域で活用できるよう支援を進めたいと考えている。</p>
----	---

## 7 子どもの豊かな心を育むための読書活動の推進

主な取組	<p>(1) 図書館管理運営事業 (38,547 千円)</p> <p>毎月の広報紙、ケーブルテレビ・ホームページなどでおすすめ本や図書館新刊受入れ情報を発信し、広く市民に知らせることにより読書を通しての生涯学習の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人登録延べ利用者数 46,539人</li> <li>・ 個人貸出冊数 202,732冊</li> </ul> <p>(図書資料など購入数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書購入 6,313冊</li> <li>・ 視聴覚資料購入 85点</li> </ul> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館まつりの開催 (生涯学習フェスティバルと共催)</li> <li>・ 各種お話し会 46回</li> <li>・ ブックスタート 23回</li> <li>・ 図書館講演会 1回</li> </ul>
------	---

評価	<p>市立図書館では、平成21年度は地元出身の「企画展 美術史家 故 気谷誠さんを偲ぶ」を開催し、県内外からの来館者があり、図書館の利用についても幅を広げる取組を行なった。また、図書館利用者に対し個々の利用ニーズの情報を得ることに努め、時代にあった、求められる資料を適切に収集している。</p> <p>しかし、現在の3図書館は、それぞれ約20年前に設置されたものであり、図書資料収蔵状況については、蔵書数が配置書架の収容能力を大きく超えており、開架書庫閲覧室における仮設棚への収納や閉架書庫における書架外収納などによって対応している状況であり、図書資料の収蔵機能は限界に至っている。さらに、幼児、高齢者及び障害がある人にとって利用しづらい背高な書架の配置が多いうえに書架間スペースの狭小な状況は、幅広い世代の利用に供する施設としては利便性が低く、静かで明るく利用しやすい読書環境を提供することが困難な施設となっている。</p> <p>今日求められる公共図書館は、小さい子どもを持つ母親からは、ゆったりとした空間で他の利用者に気兼ねすることなく親子で一緒に本が読めるスペースが、一般の利用者からは、幅広い図書資料を揃えてレファレンス機能が充実した快適な空間での読書や学習スペースが必要とされるなど、多様化する市民ニーズに対応し、読書活動の推進や読書を通じた教育・学習の環境充実という社会教育施設として再構築するためには、時代にあった図書館の整備が必要であると考えている。</p>
----	--

## 8 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進

主な取組

### (1) 西田記念哲学館運営事業（49,388千円）

石川県西田幾多郎記念哲学館、旧西田記念館及び西田幾多郎書斎「骨清窟」の適切な維持管理を行い、主に石川県西田幾多郎記念哲学館を拠点として、哲学者西田幾多郎の遺徳を顕彰し、西田幾多郎に関する資料の展示並びに哲学に関する企画展、講演会及び講座を開催することにより哲学を通じての生涯学習の機会を提供した。

- ・ 哲学館入館者数 23,157人（うち展示室観覧者数6,571人）
- ・ 西田幾多郎書斎「骨清窟」定期公開 157人
- ・ その他哲学館外事業（出前講座その他） 646人

#### （主な事業）

- ・ 哲学館運営委員会の開催 2回
- ・ 西田幾多郎哲学講座 全12回+野外学習1回
- ・ 寸心読書会 全12回
- ・ 入門講座「はじめての西洋哲学」 全3回
- ・ 特別企画「お金について考える」講演会 全4回  
（うち1回で、ドキュメンタリー作品「エンデの遺言 - 根源からお金を問う」を同時上映）
- ・ 禅文化体験会 1回
- ・ 映画「ガイアシンフォニー 第四番」上映会 4回
- ・ 日独哲学交流シンポジウム
- ・ 中乃波木写真展「Noto」(期間中2回ギャラリートーク開催)
- ・ 市内小中学校「共通道徳」実施 小学校6校(5年生)、中学校3校(2年生)
- ・ 哲学カフェ 全18回
- ・ 機関紙「哲学館ニュース」第11号発刊  
（通常は年2回発刊だが、合併号としてページ数を増やして年1回作成）
- ・ 会報誌『点から線へ』55号、56号発刊
- ・ 展示品、展示機器の管理を実施
- ・ 哲学館ギャラリー（ホワイエ・展望ラウンジ）貸出開始  
ホワイエ103日、展望ラウンジ66日使用（主催・貸館含）
- ・ 緊急雇用創出事業「デジタルアーカイブ作成事業」
- ・ 西田幾多郎書斎「骨清窟」修復移築事業（平成21年～平成22年度にわたって実施）

### (2) 総合交流促進施設運営事業（14,989千円）

施設の適切な維持管理を行うことにより市民などに対し漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えてキャンプ場及びバーベキュー場などのレクリエーション場を提供することにより人々の交流活動を促進した。

- ・ 博物館展示室観覧者数 10,672人（うち市民ギャラリー入場者数6,461人）
- ・ キャンプ場利用者数 4,383人
- ・ バーベキュー場利用者数 5,591人
- ・ 「市民ギャラリーうみっこ」の開催 28回

#### （主な展示会）

- ・ かほく市洋画の会 夏の展示会
- ・ かほく市書道協会 作品展
- ・ かほく市こども写生展 市内小学生
- ・ かほく市生け花協会 春の音
- ・ 私の作品展



主 な 取 組	<p>(3) 文化財保護事業 (2,158 千円)</p> <p>文化財の整理・保存・公開を通じて市民に対し文化財保護を周知し、地域の歴史や文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るため、市指定文化財の保護・管理を実施した。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化財保護審議会の開催</li> <li>・ 親子歴史体験教室の開催 (再掲)</li> <li>・ 市指定文化財管理 (天然記念物: しだれ桜、つつじ園、ハマナス)</li> <li>・ 上山田貝塚、大海西山弥生の里等の管理 (芝生管理、樹木管理)</li> <li>・ 文化財関係看板の修繕</li> </ul> <p>(4) 埋蔵文化財調査事業 (3,516 千円)</p> <p>市内企業の敷地造成計画に伴う若緑イナバ山窯跡出土遺物実測図化を実施した。また、開発行為等の事前協議に伴う埋蔵文化財試掘調査を実施した。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺物実測図化業務委託</li> <li>・ 試掘調査用機械借上</li> </ul>
------------------	--

評 価	<p>西田幾多郎記念哲学館では、入門者・初心者向けの「入門講座」、中級者・上級者向けの「西田幾多郎哲学講座」、じっくりと哲学書を読み進める「寸心読書会」を開催している。それぞれの講座でターゲットとなる利用者層を変えることに心がけて企画している。また、講座終了後に喫茶室で講師を囲んで哲学について討議する「哲学カフェ」を行い、講座参加者と講座講師が気軽に討論できる場として好評の声をいただいている。また、「特別企画」は、哲学に興味がある人はもちろん、哲学に興味がない人たちをも哲学館に呼び込むことを目的として実施し、平成21年度はお金をテーマとした。映画監督、哲学者、税理士、日本銀行支店長といった幅広い分野から講師を招き、多様な講演会を開催した。</p> <p>平成21年度から「市内小中学校『共通道徳』」事業を新規に実施した。市内小学校6校(5年生)、中学校3校(2年生)が哲学館を訪問し、西田幾多郎に関する講義を受け館内見学を行った。この事業により市内の特定の学年の全児童が哲学館を訪問することになり、地域の偉人に対する意識を高めることにつながった。同じく平成21年度からの新規事業として、ハワイエ及び展望ラウンジのギャラリー又は商用写真撮影場所としての一般貸出を開始した。ハワイエ及び展望ラウンジは主に展示会開催で使用されたため多くの入場者があり、哲学館全体の入館者増へとつながった。</p> <p>総合交流促進施設(うみっこらんど七塚)では、市民などの施設利用者に対し漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えて、キャンプ場及びバーベキュー場などのレクリエーション場を提供し、人々の交流活動を促進できた。今後も多くの方に利用していただけるよう、ラジオ、テレビなどを活用し、PR活動の強化を図りたいと考えている。</p> <p>歴史・文化を反映した有形・無形の文化財の適切な保存・管理に取り組むことができた。さらに、児童生徒の学習教材の充実、地域の歴史に触れる憩いの場としての機能充実のため、引き続き市民が地域に対して愛着や誇りが持てるよう文化財の公開・活用に努めていく必要があると考えている。</p> <p>開発行為などに伴う埋蔵文化財の調査については、今後とも引き続き関係機関との連絡調整を密にするなど効率的な調査に努め、調査要望に対応していくとともに、適切な記録保存を行っていく必要があると考えている。</p>
--------	--

**施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して**

【体育振興課】

平成22年4月1日から生涯学習課に統合

1 生涯スポーツ活動の推進

主な取組	<p>(1) 体育指導委員の各種研修会の参加事業（324千円）</p> <p>市民に対し、スポーツの実技指導助言を図るとともに、各種研修会に参加し体育指導委員としての資質向上に努めた。</p> <table border="0"> <tr> <td>全国体育指導委員研究協議会に参加した。（山口市）</td> <td>4人参加</td> </tr> <tr> <td>北陸体育指導委員研修会に参加した。（富山市）</td> <td>5人参加</td> </tr> <tr> <td>石川県体育指導委員研修会を開催した。（かほく市）</td> <td>18人参加</td> </tr> <tr> <td>期 日 平成21年12月6日（日）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>場 所 河北台中学校講堂及び河北台健民体育館</td> <td>265人参加</td> </tr> <tr> <td>河北郡市体育指導委員実技研修会に参加した。（内灘町）</td> <td>8人参加</td> </tr> </table>	全国体育指導委員研究協議会に参加した。（山口市）	4人参加	北陸体育指導委員研修会に参加した。（富山市）	5人参加	石川県体育指導委員研修会を開催した。（かほく市）	18人参加	期 日 平成21年12月6日（日）		場 所 河北台中学校講堂及び河北台健民体育館	265人参加	河北郡市体育指導委員実技研修会に参加した。（内灘町）	8人参加
	全国体育指導委員研究協議会に参加した。（山口市）	4人参加											
	北陸体育指導委員研修会に参加した。（富山市）	5人参加											
	石川県体育指導委員研修会を開催した。（かほく市）	18人参加											
	期 日 平成21年12月6日（日）												
場 所 河北台中学校講堂及び河北台健民体育館	265人参加												
河北郡市体育指導委員実技研修会に参加した。（内灘町）	8人参加												
<p>(2) ふれあいウォークの開催（31千円）</p> <p>期 日 平成21年10月11日（日） 延期開催</p> <p>コ ー ス 県立看護大学～サイクリングコース～高松歴史公園～県立看護大学</p> <p>参加人数 100人</p>													
<p>(3) スポレクサーキット大会の開催（156千円）</p> <p>開催回数 年3回</p> <p>（第1戦：ラージボール卓球、第2戦：カローリング、第3戦：フレッシュバドミントン）</p> <p>チーム数 一般男子14チーム、一般女子10チーム、少年少女6チーム</p>													
<p>(4) 生涯スポーツ振興事業の開催（1,447千円）</p> <p>高齢者の体力・健康増進を図った。</p> <p>週1回の定期活動</p> <p>第16回能登地区健康クラブ交歓大会に参加した。（宝達志水町）201人参加</p> <p>第42回石川県健康クラブ交歓大会に参加した。（金沢市）210人参加</p>													
<p>(5) 総合型地域スポーツクラブ（クラブパル）活動支援助成（10,000千円）</p> <p>スポーツ振興くじ助成及び寄附金</p> <p>かほく市におけるスポーツの普及・振興のために様々な教室運営や事業を行った。</p> <p>キッズコース9、ジュニアコース9、アスリートコース4、エンジョイコース14、スタジオ教室25、ほかに文化教室、セミナーを開催した。</p>													

評価	<p>各種研修会の参加により体育指導委員としての資質向上に努めた。</p> <p>レクリエーションスポーツを通じた市民のスポーツ参加へのきっかけづくりのほか、スポーツ団体その他の団体の行事などの運営に積極的に参画し、市スポーツ振興に寄与した。</p> <p>高齢者健康クラブでは、毎週木曜日に七塚（75人）、金曜日に高松（60人）、宇ノ気（80人）健康クラブが定期活動（練習）、交歓大会などを通して交流を図った。また、自己の体力度チェックとしてメディカルチェックに参加し、一人一人の体力・健康保持に努めた。</p> <p>河北台中学校区におけるスポーツ・文化活動の振興を通して子どもたちの健全育成及び地域コミュニティの拡大を図っており、生涯スポーツ、健康づくり及び生涯学習の発展に寄与した。</p>
----	---

## 2 児童生徒の体力・運動能力の向上

主な取組	<p>(1) スポーツ少年団育成事業（2,237千円） 青少年の体力向上及び心身の健全な育成を図った。</p> <p>団員数 942人（40団体） 指導者数 201人 主な事業 市スポーツ少年団開講式（4月） スポーツ指導者講習会（5月、11月） 市スポーツ少年団フェスティバル及び閉講式（2月）</p>
------	--

評価	<p>市内児童の約41%がスポーツ少年団の定期活動を通じて少年少女の仲間づくり、体力・技術力の向上及び青少年の健全育成が図られた。</p> <p>スポーツ少年団活動を通してジュニア期における体力・技術力の向上を図るためには、指導者として専門的な知識・技能や高いコーチング能力が求められる。そのために、スポーツ指導者講習会などを実施し、安全な活動に心がけた。</p>
----	--

### 3 競技スポーツの充実・強化

主な取組	(1) 平成21年度全国大会出場選手等激励会の開催(1,210千円)
	開催回数 年3回{平成21年7月24日(金) 9月16日(水) 11月26日(木)}
	場 所 かほく市七塚庁舎 3階 大ホールほか
	一 般:監督、コーチ、選手 74人
	高校生:選手 50人
	中学生:選手 16人
	小学生:選手 42人
	(2) 公認審判員(指導員)資格奨励金の実施(179千円)
	市内に居住する社会体育を实践する者又は実践しようとする者に対し各種資格取得を奨励することにより社会体育の实践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与することを目的とする。
	公認審判員等取得者数
	トランポリン37人、インディアカ29人、陸上競技16人、ソフトボール7人、ゲートボール2人
	(3) 競技スポーツの各種大会の開催
	市民の体力向上及び日頃の練習の成果を發揮する場として、また、スポーツに親しむきっかけづくりの場として各種大会を実施した。
	石川県民体育大会へ参加(体育協会)
	中心会期 平成21年2月21日(土)~22日(日) 8月8日(土)~9日(日)
主 会 場 冬季(白山市) 夏季(奥能登)	
成 績 男子:一般の部=第8位、壮年の部=第6位、総合の部=第5位 女子:一般の部=第6位、壮年の部=第5位、総合の部=第5位	
・ 石川県民体育大会に向けての市総合体育大会を開催するとともに、各種競技大会へ参加した。	
・ 市体育協会加盟団体の強化発展と相互の連携を推進した。	
学童招待野球大会の開催(291千円)	
・ 市外からの学童野球チームを招待し、技術の向上と交流を推進した。	
期 日 平成21年10月24日(土)~25日(日)	
会 場 高松野球場、宇ノ気野球場、金津ソフトボール場、七塚中央公園多目的広場	
チーム数 市内3チーム、市外11チーム(新型インフルエンザにより2チーム棄権)	
市長杯争奪石川県ラージボール卓球大会の開催(152千円)	
・ 20代から70代と幅広い年齢層で加賀、能登の地域を越えてラージボール卓球競技を実施した。	
期 日 平成21年9月6日(日)	
会 場 河北台健民体育館	
チーム数 男子の部17チーム、女子の部13チーム	
サンドヒルグラウンド・ゴルフ大会の開催(923千円)	
期 日 平成21年8月30日(日)	
場 所 高松グラウンド・ゴルフ場	
チーム数 204チーム(1,020人)	
かほく市制施行記念継走大会の開催(462千円)	
市制施行を記念し、中学生から大人までが市内周回コースを4人で継走した。	
期 日 平成22年3月7日(日)	
コ ー ス 宇ノ気小学校~かほく市七塚庁舎 総延長 13.5Km 4区間	
チーム数 一般男子34チーム 一般女子5チーム 中学男子38チーム 中学女子21チーム 市外一般男子2チーム	

評 価	<p>         全国大会出場者に対して、より一層の活躍を願い激励会を開催したことが大会での上位入賞の活躍の大きな原動力となった。       </p> <p>         社会体育実践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与した。       </p> <p>         各種団体との兼ね合いの関係で、種目によっては定期練習及び県体強化練習会場の十分な確保が難しくなっているが、連絡調整をしながら現状に至っている。       </p> <p>         石川県民体育大会の正式競技39種目中32種目にエントリーしており、上位入賞のためにも参加種目を増やすよう努めている。       </p> <p>         地域間の融和と活力あるまちづくり及び広く市民全体の体力づくりに寄与するとともに、青少年及び健康的な市民の育成を推進する一助となっている。       </p>
--------	--

#### 4 スポーツ施設の整備・充実

主な取組	(1) 体育施設維持管理への主な取組			
	25 体育施設（屋外 10 施設、屋内 15 施設）の維持管理・改修を行い、安心してスポーツに親しむ場を提供した。			
	芝生管理業務委託			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うのけ総合公園芝生管理業務委託（2,552 千円） 芝生面積 A = 18,000 m<sup>2</sup> 対象施設 陸上競技場、野球場、児童館周辺</li> <li>・ 高松運動公園体育施設等芝生管理業務委託（2,720 千円） 芝生面積 A = 14,200 m<sup>2</sup> 対象施設 野球場、陸上競技場 芝生面積 A = 11,300 m<sup>2</sup> 対象施設 中央広場、ふれあい広場、芝生広場</li> <li>・ 高松グラウンド・ゴルフ場芝生管理業務委託（5,183 千円） 芝生面積 A = 27,000 m<sup>2</sup></li> </ul>			
	高松体育センター競技場床改修工事（2,594 千円）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競技場（960 m<sup>2</sup>）の床改修工事（サンダー掛け、ウレタン塗装掛け、競技ライン）</li> </ul>			
	河北台健民体育館競技場床改修工事（5,040 千円）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競技場（1,840 m<sup>2</sup>）の床改修工事（サンダー掛け、ウレタン塗装掛け、競技ライン）</li> </ul>			
	河北台健民体育館屋根改修工事（9,521 千円）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 2 年増築部分（869 m<sup>2</sup>）・屋根カバー工法による葺き替え工事</li> <li>・ 昭和 5 2 建築部分（2,410 m<sup>2</sup>）・屋根塗装工事</li> </ul>			
宇ノ気スポーツセンター外壁改修工事（7,763 千円）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外壁（672.6 m<sup>2</sup>）工事（枠組み足場、サンダー掛け、防水工事シーリング、塗装他）</li> </ul>				
高松グラウンド・ゴルフ場コース内トイレ建設工事（6,993 千円）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床面積（9.66 m<sup>2</sup>）男子トイレ・小便器 N = 2 箇所、大便器 N = 1 箇所 女子トイレ・大便器 N = 2 箇所</li> </ul>				
自動体外式除細動器（AED）購入（3,074 千円）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動体外式除細動器（AED）一式 8 台（壁掛け収納ケース含む）</li> <li>・ 設置場所 宇ノ気体育センター、七窪体育館、南部体育館、宇ノ気新化館、金津体育館、高松体育センター、宇ノ気スポーツセンター、七塚体育センター 計 8 施設</li> </ul>				
(2) 宇ノ気体育館、宇ノ気新化館維持管理業務委託（5,408 千円）				
平成 18 年度から当施設の指定管理者として事業の運営効率化と施設の維持管理の充実に努めた。				
指定管理委託施設 宇ノ気体育館、宇ノ気新化館				
指定管理者 NPO 法人 クラブレッツ				
(3) 河北台健民体育館 2 階トレーニングセンター運営業務委託（4,893 千円）				
体育館の 2 階トレーニング機器を活用し、多彩なメニューによる市民の健康づくりの場を提供した。				
運営受託者 NPO 法人 クラブレッツ				
利用人数	平成 20 年度	平成 21 年度	備考	
(年間)	12,897 人	13,215 人	トレーニングルーム	
	7,472 人	6,852 人	スタジオ	

芝管理業務により適正な施設の維持管理ができた。平成21年度においては、経済危機対策臨時交付金などの活用により体育施設の改修、整備面において、安全・安心な施設環境の維持に努めることができた。特に屋内体育施設8箇所にガイダンス機能を備えた自動体外式除細動器を設置できたことにより緊急時（心肺停止時）には一般の人でも処置に対応できることとなった。

指定管理者の設置により修繕等にも早急に対処し、利用者の安全を確保することができた。また、指定管理者がスポーツ教室、セミナー、イベントなどの開催を幅広く展開し、いつでも、どこでも、気軽に参加できる環境がつけられた。

河北台健民体育館2階トレーニングセンターの有酸素機器及びトレーニング機器を活用し、市民の健康増進を推進した結果、利用者は前年度より318人増加した。また、スタジオにおいても幅広い年齢層を対象としたメニューが展開されたが、利用者が前年度より620人減少したため、今後はトレーニングルーム、スタジオを一体的に活用した事業の展開を図ることによる市民への健康づくりに努めていく必要がある。

# 資 料

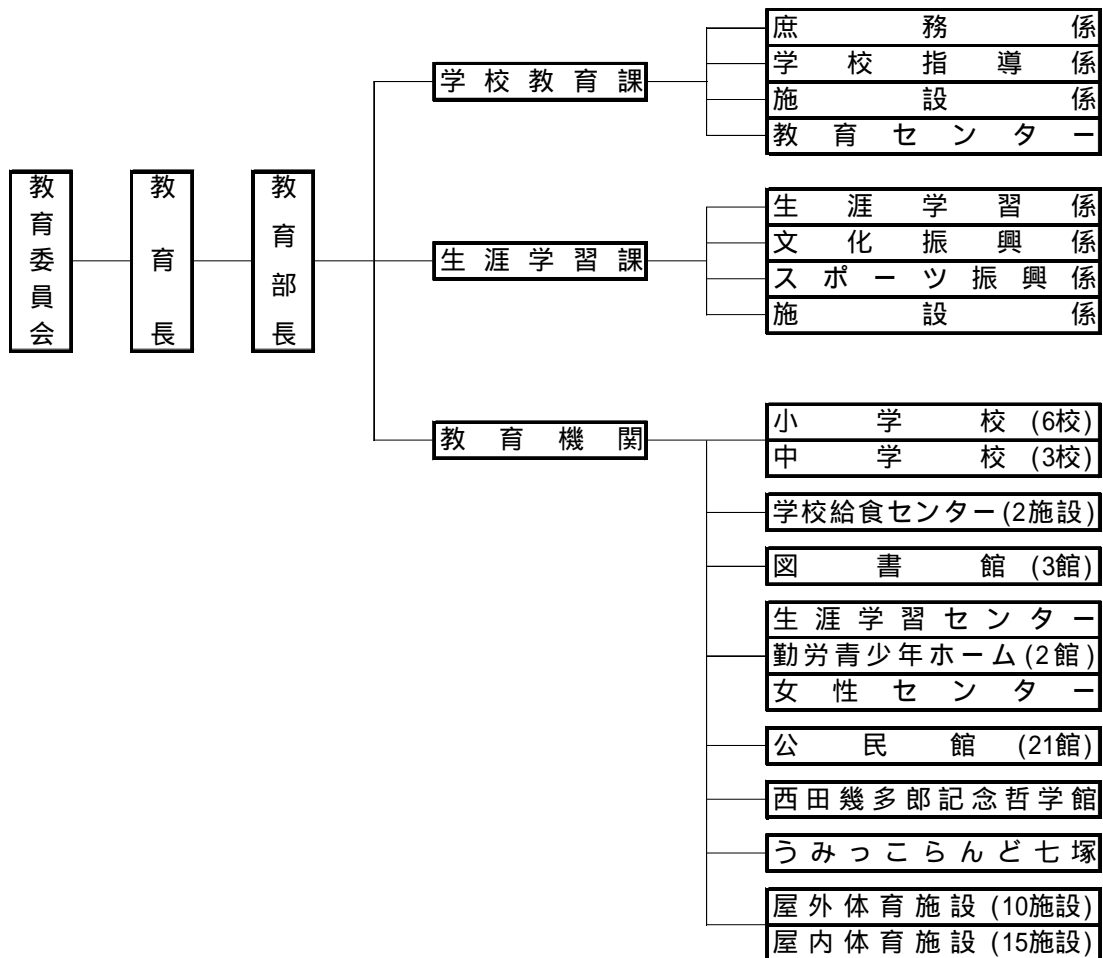
## 1 教育委員会委員

(平成22年4月28日現在)

職 名	氏 名	教育委員の任期
委 員 長	架谷 瞬華	平成22年4月28日～平成26年4月27日
委員長職務代理者	中田 節子	平成19年4月28日～平成23年4月27日
委 員	寺西 哲秀	平成20年4月28日～平成24年4月27日
委 員	松井 三枝子	平成21年4月28日～平成25年4月27日
教 育 長	遠田 敏博	平成20年4月28日～平成24年4月27日

## 2 教育委員会の組織

(平成22年4月1日現在)





### 3 教育機関

#### (1) 小学校

(平成22年5月1日現在)

名 称	開設年月日	児童数
かほく市立高松小学校	明治 6年	432人
かほく市立大海小学校	明治 8年 1月	123人
かほく市立七塚小学校	明治 6年 7月 4日	334人
かほく市立外日角小学校	明治 8年 11月 17日	424人
かほく市立宇ノ気小学校	明治 8年 4月 10日	833人
かほく市立金津小学校	明治 6年 11月	96人

#### (2) 中学校

(平成22年5月1日現在)

名 称	開設年月日	生徒数
かほく市立高松中学校	昭和22年 4月 1日	256人
かほく市立河北台中学校	昭和22年 4月 1日	396人
かほく市立宇ノ気中学校	昭和22年 4月 1日	475人

#### (3) 学校給食施設

(平成22年4月1日現在)

かほく市第1学校給食センター	かほく市第2学校給食センター
----------------	----------------

#### (4) 社会教育施設

(平成22年4月1日現在)

かほく市立高松図書館	かほく市立七塚図書館	かほく市立宇ノ気図書館
かほく市七塚生涯学習センター	かほく市七塚勤労青少年ホーム	かほく市宇ノ気勤労青少年ホーム
かほく市高松女性センター	石川県西田幾多郎記念哲学館	かほく市うみっこらんど七塚
かほく市高松公民館	かほく市二ツ屋公民館	かほく市長柄町公民館
かほく市木津公民館	かほく市松浜公民館	かほく市遠塚公民館
かほく市浜北公民館	かほく市秋浜公民館	かほく市外日角公民館
かほく市白尾公民館	かほく市森公民館	かほく市指江公民館
かほく市至誠が丘公民館	かほく市気屋公民館	かほく市宇気公民館
かほく市七窪公民館	かほく市宇野気公民館	かほく市内日角公民館
かほく市大崎公民館	かほく市金津公民館	かほく市上田名公民館

(5) 社会体育施設

(平成22年4月1日現在)

かほく市高松体育センター	かほく市七塚体育センター	かほく市宇ノ気体育センター
かほく市河北台健民体育館	かほく市宇ノ気南部体育館	かほく市宇ノ気新化館
かほく市金津体育館	かほく市七窪体育館	かほく市宇ノ気スポーツセンター
かほく市河北台体育館	かほく市宇ノ気体育館	かほく市高松陸上競技場
かほく市うのけ総合公園陸上競技場	かほく市高松野球場	かほく市宇ノ気野球場
かほく市金津ソフトボール場	かほく市高松テニスコート	かほく市七塚テニスコート
かほく市宇ノ気テニスコート	かほく市うのけ総合公園テニスコート	かほく市高松グラウンド・ゴルフ場
かほく市七塚武道館	かほく市高松弓道場	かほく市宇ノ気弓道場
かほく市アクロス高松		

4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成21年度  
かほく市教育委員会点検及び評価報告書

発行年月：平成22年12月

発行者：かほく市教育委員会

学校教育課 TEL 076-283-7136 / FAX 076-283-3643  
E-mail : gakkou@city.kahoku.ishikawa.jp  
(教育センター) TEL 076-283-7170 / FAX 076-283-2146  
E-mail : kyouiku@city.kahoku.ishikawa.jp  
生涯学習課 TEL 076-283-7137 / FAX 076-283-2894  
E-mail : syougai@city.kahoku.ishikawa.jp  
(スポーツ関係) TEL 076-283-7138 / FAX 076-283-4242  
E-mail : taiiku@city.kahoku.ishikawa.jp

〒929-1193 石川県かほく市浜北八6番地1(かほく市七塚庁舎内)

URL : <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/>